

時間(とき)

岡山県立岡山高等技術専門校の夏目先生からリレーを受けてしまいました、兵庫県の眞利です。夏目先生とは、平成9年に受講した能開大の基礎研修（指導員新任研修）で一緒になって以来、早いもので7年の付き合いです。

実は夏目先生と私は能開大の同期卒業なのですが、学生時代あまり交流がありませんでした。不思議なものでこの研修で共に指導員（2年目）として再会し意気投合……。このときはお互い夢・希望・不安で満ち溢れた新人指導員でしたが、今ではお互い家庭を持ち子育てに奮闘しているなんて、あらためて時間が経ったことを感じています。

そんな夏目先生から1本の電話……。何事かと思えばこのリレートークの依頼……。気がつけば依頼を受理してしまったというわけです。

1995年阪神淡路大震災が発生してから来年でもう10年になります。神戸へも時々出向くことがあるのですが、その地に立つたびに「人の力」ってすごいと感じます。私の記憶にある大震災以前の街並みとは変わってしまったところもたくさんありますが、倒壊していたビルも再建され、多くの焼け野原となっていた場所も今は真新しい家屋が新築され、物理的には本当に震災があったのかと思わせるほど復興が進み、街の活気も以前のように戻ってきたように思います。本当に関西人パワーを感じると同時に、時間の過ぎる早さを感じているところです。

阪神淡路大震災が発生したとき私はまだ学生でした。神戸・明石にいる家族や親戚が無事なのかと心配しながら壮絶な光景をテレビ越しに見て、安否確認のため必死

になって実家に電話していたのが、本当に昨日のこのように感じます。

私は現在、姫路高等技術専門学院の住宅建築科で指導員をしているのですが、この住宅建築科も震災復興の住宅再建を担う技能者を育成するため、震災2年後の平成9年に新設されました。今思い返せばこの住宅建築科が新設されたとき私は指導員になって2年目、この科が新しいことを取り入れ成長していくのと同時に、私も指導員として成長させてもらったように思います。

今は指導員であると同時に、家に帰れば5歳と2歳の子どもの父親もしています。仕事も大変ですけど、家に帰るともっと大変……。かな？ でも無邪気な子どもを見ているとそんなことも忘れ、子どもたちから元気を分けてもらおうと同時に、これからどのように成長していくのだろうと楽しみ・心配半々に思いながら子育てに奮闘し、毎日が過ぎている状況です。

時間(とき)の経過はあっという間で待ってくれない。今できること、今やるべきことをひとつひとつ大切にし、仕事も家庭（家族）に対しても、後悔しないよう日々を過ごしていけたらと思っています。

次のリレートークは、佐賀県立産業技術学院の山M先生です。先生は私と能開大（建築工学科）の同期で、現在は佐賀県民のため大活躍されているそうです。兵庫県～佐賀県はかなり距離があるので、なかなか会うことができないのですが、今回のリレートークを依頼したところ、ご多忙中にもかかわらず快く受けいただきました。それでは、よろしくお祈いします。